

6月8日

ラッセル車清掃(米原学びあいステーション)

東海道本線の米原大垣間の除雪で活躍した、貴重な車両を適切に保存しようと、東海鉄道OB会滋賀県支部が主体となり、周辺の草刈りのほか、軽油を使って、車輪や車両の側面、屋根の上などが磨き上げられました。



6月9日

市内小中学校へバスケットボール寄贈

滋賀レイクスターズと共同で、市内に工場を構えるアストラゼネカ(株)からバスケットボール21球が寄贈されました。滋賀レイクスターズは、3月から県内の小中学校にバスケットボールを寄贈する取り組みを実施されており、協賛されたアストラゼネカ(株)は、地元にも少しでも貢献できればと話しました。



6月27日

滋賀県行政書士会と協定締結

市は被災者支援に関する相談窓口体制を強化するため、滋賀県行政書士会との間で「災害時における被災者支援に関する協定書」を締結しました。災害時には、市の要請に基づき、被災者支援に関する相談窓口の設置や、罹災証明書の申請等の支援が行われます。



7月4日

本のプレゼン大会「ビブリオバトル」を開催(大東中学校)

まいばら読書の日の取り組みとして、本の面白さを紹介し合い、一番読みたくなった本を選出するビブリオバトルが行われました。この大会は学校全体で行われ、3分間のプレゼンの中で本の面白さや魅力が紹介され、プレゼンを聞いた生徒は読書への意欲を高めました。



6月8日

米原曳山祭看板点灯式

米原曳山祭をPRするため、米原曳山祭保存会がJR米原駅の東口と西口に大型看板を設置しました。看板は、米原市出身の井上隆次いのうえたかつぐさんによる寄付金で製作され、1年を通して夜間ライトアップが行われます。点灯式では、米原曳山祭保存会会長の田中和人たなかかずとさんから井上さんへ感謝状が贈呈されました。



6月15日

市長がウクライナキッチンを激励(ローザンベリー多和田)

ロシアの軍事侵攻を受け、ウクライナから避難しているイリーナ・ヤボルスカさんが、母国料理を販売するキッチンカーを市内観光施設に出店。市長が訪問して激励しました。現在、キッチンカーは彦根市の彦根キャッスル リゾート&スパの敷地内で営業されています。



6月29日

放課後児童クラブ(あしたばひろば)

4月から米原第2児童クラブ(あしたばひろば)の利用が始まり、米原小学校区の児童が放課後に友達やスタッフと楽しいひとときを過ごしています。この日は、56人の児童が集まり、学校の宿題をした後、おやつを食べたり、お手玉や水遊びを楽しみました。



7月4日

双葉中学生が市役所で職場体験

7月4日から双葉中学生9人が米原市役所で職場体験を行いました。2つの班に分かれ、3~5日間で電話応対や会議への参加、広報誌の取材や伊吹山テレビのスタジオ収録などを行い、参加した生徒は普段触れることのない市役所の仕事を体験しました。

